

三  
二  
一

No. 40  
68-10,28

教育文化部自治會

知其所以然者一無生滅一大乘釋名之說  
本曰一切人言謬

誓固にして持续的な推进のための意志一致が  
ひちとられぬまならない。現在の情勢から我々  
々が要求すべきは、いものは失する期的な争  
争の断固たる推進と、そして需要的な推进づ  
のだ。この学生大会をアラタマチの城術  
説教に終わらせてはならない。全ての担当者及  
は後退的傾向の一切を粉碎してさすであろう  
学校当局の推進派は、文自三の消長ヒカルヒ  
して邪魔な想いを抱いてゐる。斗うて針の在  
割れを採択し、乙假想を裏付けしのなけれ  
ばならぬ。そして他学部の学友の多いの中  
軸としての存在を内容的に再度構築して行か  
ねばならない！ 30日学生大会の意義を真に  
うかるべき内容的、思想的討論二三が、大学  
生組の主体者としての意識づをが望ましい

現在の局面について  
教援アマの初方 我々の相談室

このがん要であると考へ  
毎日學生大会のもつ意義  
この學生大会が、私たの三つの目的の変更  
この大會の最も大切なものが何であるか、現在我  
の状況、特に進歩派の出方を見れば明らかに  
あります。この大會においては、今日皆自  
己以後の局面の活動化——もしくは明確化——を  
下につけての全学友の統一認識を確立し、その  
上に我々の討論会、大衆園交要求の路線の

たがるに、容易な形での譲歩に推進の機  
運をもつるものとは云ひ難いであらう。推進の機  
運の基盤の下に自己の「政局力」を發揮するに、  
自斗の又ローランが明白にMTP委解説！ 6文  
10土地施策未定撤回！を掲げていろニと、文  
22白老学部学生大会にあけた設案が、さ  
く、同様の水準を擡起するに至ったため  
收拾し、今や6.20決定の撤回だけでは済ま  
ず、希望的な観測にすゞなく行つてきてい  
う。二とは一般的に明白に行つていろわけ  
ある。故に、推進派が苦しきされの譲歩を  
とらうとする方観測は採用されるべきで  
基本的に彼らの想つきに二と二と  
日々の斗争の自己崩壊であり、その解  
け口の上からの華麗收拾である。それ  
の長期的推進の強調される所似で我

めた全學的攻守主導の自己形成が必要な  
であり、その度で今へ全學斗の質的純正的強  
化が必要である。

30日学生大会で我々は何をやかちとるのか！  
今までの展開で明らかによう、Mの委解  
強！6/10未定撤回をあくまで追求する二との  
確認であり、内部崩壊を狙う接進派の意  
図を完全打消まで粉碎すべき長期無期限の討  
訴故会開き要求につけての意を一致が改めて  
なされなければならぬ。しかもそれが全學  
的斗争主体として定立し抜けければならぬ。  
也ニに我々の自主記憶活動の形成につけての  
明白な問題意識はなれねばならぬ。第  
三に、16日のイニク・カレッジな手を發展  
させろべき意志形成がなされねばならぬ。  
全くの手う学校諸君、本日、各クラスにお  
いて徹底したクラス討論をつみ重ねよう！

10  
29  
於全學斗進未起集會、映画会、(結集せよ)  
G501257映画会、(主催: 講壇)  
全學斗、新聞会)  
チケット券売中。(100円十九二、)

本日ウニス代表者会談にて、本部  
でさうだけ多くの学友を結集せよ!!

「三里塚の夏」(他一篇)  
全掌斗、未起集会、聯組会、上級集会主、  
於G501207映画会、(主催:鶴場  
寮、全掌斗、新聞会)

「三里塚の夏」(他一篇)  
全掌斗、未起集会、聯組会、上級集会主、  
於G501207映画会、(主催:鶴場  
寮、全掌斗、新聞会)

て我々の身の内部崩壊の危には様  
な惆悵が加えられた。先日の審学生大会  
においてストカ坐折は、實に各教室毎の  
年生を中心に行われた教官から始め  
けによろ所が大抵のものである。理教の斗争  
にて最もそのような事態の到来が予想さ  
れる。文學部においても、四年生部会に對  
する仇きかけは存在するであろう。  
接連派の出方からして、教授会の陳述と  
ともに評議会、懇談会、五学部長会議とい  
う形での謀取が秘密裡に進んでいることは  
周知の通りであり、これに対する我々の対  
応状必要ぢことは言うまでもない。  
更に恥負れぬとして、破廉恥にも學生  
部全体の業への全面的開始を目的めた書  
類の一括もち出ししが學生部次長等から切  
出され、互申し承をし左からも、授業金革へ  
再開の為の原簿のもち出しにつけて、持  
ち出しこそ外とは交付できかね等と矛盾し  
た迷云を吐いていたのである。彼らの補  
充下課關係の第2回再開につての意圖はも見  
えてゐる。彼らの本鎧封鎖破壊策動を粉碎

斗争主体の挑戦  
は、数多くの行動が試みられ、ながらも、その  
侵略性についての認証が完全にえられていません。  
しかし、我々の恒常的な大学占拠が如何  
なる内容を持つのかについての想えべき空  
か存在してます。形態的にはクラス斗争  
多々クラス代表者会議とは、組織が各々  
一段階階の集中性へ後退の為、十分回復し  
ていなくて、指導井能の強化と、我々の知  
一運動の建設とが必要であります。又、四年生  
令の斗争要態形成が非常に不十分に古く  
されてる更に注意されねばならぬ。夕  
べからミリト諭の怪しげな伝播についてには  
その教育自体の教育大の実務にそくわな無  
根拠性をさることから、その恫喝をのり  
ニえている東大が斗争の本拠を試みるべ  
きであつた。他学部の争争こそ視野と方さ  
ともあれ、